

2022. 12. 15
< 配信枚数1枚 >

報道関係者 各位

**立命館大学アジア・日本研究所とベトナム NONG LAM 大学経済学部が
学術交流協定を締結
持続可能な農業の開発や食糧問題の課題解決を目指す**

立命館大学アジア・日本研究所(大阪府茨木市、所長:小杉 泰)は、NONG LAM 大学 経済学部 (Faculty of Economics, Nong Lam University、ベトナム ホーチミン市、学部長:LE CONG TRU)と、グローバルな研究ネットワークの構築や研究成果の国際発信を目指し、2022年12月14日に学術交流協定を締結しました。

同研究所は、「アジア・日本研究」をリードする研究者の育成、未来のアジア・日本についての共通ビジョンの形成を掲げ、世界各地から研究者が集うアジア・日本研究のプラットフォームとして、「共生」「共創」「和解」をキーワードとした総合的実践研究に取り組んでまいりました。NONG LAM 大学との間では、持続可能な農業と開発を中心に、経済学の多様な分野、特に開発経済学と農業・農村開発について、研究活動を積み上げています。

今次の協定により、さらなる教員・研究者の交流や、共同の研究プロジェクト推進を図ります。環境・社会・経済など複数の利益を地域社会にもたらす持続可能な農業の開発を進めるほか、それらが気候変動時代において、世界の食糧安全保障への解決策となる可能性などを研究してまいります。



(左) LE CONG TRU 経済学部長
(右) 小杉 泰 所長

■NONG LAM 大学について

ベトナムでトップクラスの農業大学の一つ。現在、約 14,000 人のフルタイム学生と 6,000 人以上のパートタイム学生が在籍。同大学経済学部は 1978 年に設立。現在は農業経済学、環境・天然資源経済学、農業ビジネス、農村開発、会計学、一般経営管理、商業管理、金融管理、高度経営管理など、6 学科 9 プログラムによる教育を展開している。

本リリースの配布先: 京都大学記者クラブ、草津市政記者クラブ

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学広報課 担当:池田

TEL.075-813-8300 Email. r-koho@st.ritsumeikan.ac.jp